

LEVEL
1

ちわわ はな
チワワの花すけ



ぼくはチワワ。

なまえは花すけ。男の子です。

目が大きくて、ま〜るいです。

犬の中で、いちばん小さいです。



1

冬のある日、お姉さんの

青いマフラーが、いすの

上にありました。

ぼくは、そのマフラーに頭を入れました。

ふわふわで、とても温かいです。

「わんわん。お姉さん、見て見て！」

ぼく、かわいいでしょう!？」



2

でも、お姉^{ねえ}さんは怖い^{こわ}顔^{かお}です。

そして、ぼくに^い言^いいました。

「花^{はな}すけ、それは私^{わたし}のマフラー^{まふらー}よ。

返^{かえ}して！」

「わんわん。いやだ！」

ぼくは、お姉^{ねえ}さんに返^{かえ}しませんでした。



それから1週間^{いっしゅうかんあと}後^{あと}です。

いすの^{うえ}上^{ちい}に、小^{ちい}さい帽^{ぼうし}子^しと

マフラー^{まふらー}が^あり^まし^た。

赤^{あか}と白^{しろ}の線^{せん}が^いっ^てい^ます。

ぼくは^{おも}思^いいました。

—だれのマフラー^{まふらー}?—

すると、お姉^{ねえ}さんが笑^{わら}いながら、ぼくに

言^いいました。



「これは、私^{わたし}が^{つく}作^{つく}った^の。プレゼント^{ぷれぜんと}よ」



「わんわん。お姉^{ねえ}さん、ありがとう！」



ぼくは、とてもとても、うれしいです。

ぴよんぴよん、とびます。

くるくる、まわります。

ぴよんぴよんとびます



ぼくは、たくさん^{おど}踊りました。

「^{ふぁ～あ}ファ～ア」

^{おお}大きい^であくびが出ました。



あたま くび
頭と首が、とてもあたたかいです。

きもち
気持ちがいいです。



— あ～ ねむ～い —

ねえ
お姉さんが、ぼくにききました。

「あれあれ～？ はなすけ、ねたの？」

ぼくはとてもねむいです。

ねえ
お姉さんのこえがとおいです。 ぼくは

ゆめ なか
夢の中にいます。

す～す～ すやすや
「ス～ス～スヤスヤ～」

お や す み な さ い



ス～ス～
スヤスヤ

ちわわ はな
チワワの花すけ
ぼうし まふらー
帽子とマフラー

はっこう ねん がつ にち
発行： 2020年2月22日

さく まるやまきょうこ
作： 丸山京子

きょうりよく たげんご たどく
協力： NPO多言語多読

 TADOKU
Supporters NPO多言語多読
tadoku.org